

31 地域連携軸構想の活動内容及び推進組織

	地域連携軸名	活動内容	推進組織
1	青函インターブロック交流圏構想	昭和63年4月に青函インターブロック交流圏構想推進協議会を設立、平成13年11月には青函交流・連携プランを策定。 主な活動内容は、毎年、圏域の一体感を醸成するため、青函交流・連携推進事業を開催しているほか、各種普及啓発活動を実施。	青函インターブロック交流圏構想推進協議会
2	環十和田プラネット広域交流圏構想	平成9年2月に環十和田プラネット広域交流圏推進協議会を設立。 主な活動内容は、推進組織を中心に環十和田プラネット広域交流圏構想に関するホームページ、観光マップ、ポスター等の作成、フォーラム等イベントの開催、圏への要望活動。(協議会は平成14年度末に解散したが、今後は各々の自治体が広域的視点を持ち必要に応じて連携を行っていく予定。)	
3	岩手 秋田地域連携軸構想	推進組織の一つとして、平成11年1月に秋田 岩手地域連携軸推進協議会設立。 主な活動内容は、秋田と岩手の中間点でもある国道46号翠石町の道の駅「翠石あねっこ」が平成14年度に完成し、構成自治体相互の交流・情報発信の拠点化が可能となったことや、NPO法人との共同でPR/パンフレットの策定を行政共同で行うなどの活動を推進。	秋田 岩手地域連携軸推進協議会
4	宮城 山形地域連携軸	平成8年10月から宮城、山形地域連携推進会議を開催し、シンポジウム等を開催していたが、平成12年3月に推進組織として、「宮城 山形地域連携推進会議」を設立。 主な活動内容は、宮城 山形交通ネットワーク連携方策調査の実施や修学旅行誘致説明会を開催。	宮城 山形地域連携推進会議
5	南とうほくSUNプラン	平成3年1月に「南東北中枢広域都市圏構想推進協議会」を設立し、平成6年6月に広域都市圏形成のマスタープランである「南東北中枢広域都市圏構想～南とうほくSUNプラン」を策定。 主な活動内容は、マスタープランをもとに、共同プロジェクトの実施、ホームページ等を通じ活動内容の情報発信を地域圏内外に展開。	南東北中枢広域都市圏構想推進協議会
6	21世紀FII構想	平成4年1月に21世紀FII構想推進協議会を設置し、平成5年9月に指針を策定。 主な活動内容は、FII地域PR/パンフレット等作成、交流事業の支援、地域づくり団体の交流会開催など。また、構想を受けて圏域の市町村が連携し新たに協議会を設立、観光事業、特産品フェアなどのPRや災害時の相互応援協定を締結。	21世紀FII構想推進協議会(福島県、茨城県、栃木県)
7	福島 新潟地域連携軸構想	推進組織を設置していないが、福島・新潟両県が各局間において、個々に共同事業を実施。 主な活動内容は、平成9年度に東北横断自動車道いわき新潟線(磐越自動車道)が全線開通したことにより産官学サミットを開催したり、磐越道沿線都市交流会議の開催、観光や地域振興を目的とした協議会を設置。	推進組織は未設置
8	北関東 新潟地域連携軸構想	平成7年2月に北関東 新潟地域連携軸推進協議会を設立。 主な活動内容は、災害時における相互応援に関する要綱の策定、平成12年度から地域連携軸フェスティバルを開催し、広域的な地域相互の物的・人的資源の交流を展開。	北関東 新潟地域連携軸推進協議会
9	関東大環状連携軸構想	推進組織の一つとして、平成6年度に関東大環状軸推進協議会が設立。 主な活動内容は、北関東自動車道の建設促進運動等。北関東自動車道の進展に伴い地域連携に対する意識が沿線自治体に高揚し、「有志首長懇談会」や、民間主体の「手をつなごう北関東300人交流会」等の、連携の環境作りも視野に入れた活動も進展。	北関東自動車道建設促進期成同盟会、関東大環状軸推進協議会
10	中部横断自動車道沿線連携軸構想	推進組織の一つとして、昭和58年10月に中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会を設立。 主な活動内容は、リート日本海 太平洋シンポジウムを4県の各都市において昭和62年度より毎年開催。また、平成7年8月に設立された中部西関東市町村地域連携協議会においてもサミットの開催等広域交流事業を展開。	中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会、山梨県中部横断自動車道建設促進期成同盟会、中部西関東市町村地域連携協議会
11	中部縦貫地域連携軸構想	平成2年9月に山梨・長野・岐阜三県協議会を設立、平成2～3年に、「中央内陸圏のビジョン」を策定。 主な活動内容は、中央内陸圏連合知事懇談会の合意事項に基づき、広域観光マップの作成、中央道のサービスエリアを活用した合同催事(広域観光キャンペーン、農林物の共同販売)、広域ネットワークの対応等。	推進組織は未設置
12	三遠南信軸	推進組織の一つとして、平成6年1月に三遠南信地域整備連絡会議を設立。 三遠南信自動車道を軸とした沿線の地域整備の推進のあり方等について調査研究を実施。 また、平成8年7月に設立された三遠南信地域交流ネットワーク会議などととも「三遠南信サミット」開催等交流事業を展開。	三遠南信地域経済開発協議会、三遠南信地域整備連絡会議、三遠南信地域交流ネットワーク会議

	地域連携軸名	活動内容	推進組織
13	東海環状軸	東海三県一市の連携を深めるため平成8年度から毎年知事市長会議を開催、平成13年度に東海三県一市連絡協議会を設置。 東海三県一市に共通する課題等について取り組んでいる。	東海三県一市連絡協議会、東海環状道路建設促進期成同盟会、東海環状地域整備推進協議会、
14	日本中央横断軸構想	平成5年11月に日本中央横断軸推進協議会を設置。 主な活動内容は、将来的な中部国際空港 能登空港の開港や東海北陸自動車道及び能越自動車道の全線共用を視野に入れた、東海北陸地域連携の講演会、シンポジウム等や、ホームページの開設をおこなうことにより、地域の連携に関する意識の高揚、社会資本整備に向けた環境整備への運動の展開。	日本中央横断軸構想推進協議会
15	紀伊半島広域交流圏	昭和45年2月に紀伊半島開発連絡協議会を設立。平成7年度に「紀伊地域半島振興計画」を策定、3県知事会議も開催を通じ、3県連携事業を各種展開。 主な活動内容は、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録（平成16年6月）に向けた取り組みや、和歌山県が整備したトクターヘリの三県共同利用等広域医療促進への取り組みをはじめ多数、国への提案・要望も実施。	紀伊半島開発連絡協議会
16	京滋奈三 広域交流圏	平成8年4月に圏域の行政と経済界が一体となって「京滋奈三 広域交流圏交流会」を設置し、平成12年3月に行動指針を策定。 主な活動内容は、「京滋奈三 広域交流圏シンポジウム」は平成10年以來5回を数えるなど圏域の歴史や文化・産業・自然といった資源の再認識する事業を展開。	京滋奈三 交流圏研究会
17	福井 滋賀 三重地域連携軸構想	推進組織は未設置であるが、平成9年4月の「福井 滋賀 三重地域連携軸宣言」に基づき連携事業を展開。 主な活動内容は、平成12年度より岐阜県を加え、圏域を「日本まんなか共和国」とし、県民の交流の促進 各県が有する自然、環境、文化等を活用した地域全体の魅力アップ及びそのPR 県における施策の効率化、職員のパフォーマンスの向上 イベントの開催、ホームページ等による観光情報の情報発信等。	推進組織は未設置
18	T・TAT地域連携軸構想	平成7年12月にT・TAT地域連携軸構想推進連絡会議を設置。（平成13年4月にT・TAT地域連携軸推進連絡会議と名称変更。） 主な活動内容は、次のプロジェクト事業を実施している。地域シンクタンク連携の促進 アンテナショップ・ネットワークの形成 草の根交流のサポート ワールド・ミュージアム・ネットワークの形成の4つのプロジェクト事業や、本構想の実現に効果的なグループ 団体等の事業に対する助成事業等の実施。	T・TAT地域連携軸推進連絡会議
19	瀬戸内海グランドデザイン	平成7年3月に関係各県と中 四国経済連合会と共に瀬戸内海交流圏研究会を設立。 主な活動内容は、これまでの国土交通省の調査等によって「広域的な環境保全 修復」、「環境と融合した沿岸域圏の創出」などの広域連携施策の検討、施策具体化に向けた国への要望活動の実施。現在、瀬戸内海地域の新たな発展ビジョンとなる「瀬戸内海創生構想」を策定中。	瀬戸内海交流圏研究会
20	西瀬戸経済圏構想	昭和57年11月より西瀬戸経済圏関係知事会議を開催し、知事会議を中心に展開。 主な活動内容としては、知事会議の開催及び共同要望 提案 総合開発計画への連携 交流基盤の整備（公共事業に関する連絡会の設置）観光フェア・スポーツ大会等交流促進事業 農業や漁業広域観光等に関する交流研究活動。知事会議自体は平成14年度をもって解散し、今後はテーマごとに交流をおこなう予定。	
21	西日本中央連携軸構想	平成6年5月に、西日本中央連携軸推進協議会を設立。 主な活動内容は、地域連携に係る 7つの戦略プロジェクト推進 交流連携促進事業の開催 普及啓発 情報発信事業を主な目的として活動。瀬戸大橋や中国横断自動車道の相次ぐ開通により各地域間の交流は近年活発になっており、圏域内の交流活動への助成事業に対しても申請団体が増加。	西日本中央連携軸推進協議会
22	中四国地域連携軸構想	平成6年6月に中四国地域連携軸構想推進連絡会を設置、平成13年度に「中四国地域連携軸構想アクションプラン・プログラム」を策定。 主な活動内容は、シンポジウム 交流会の開催等。特に新規事業として「広域交流共同開催事業」を創設し従来の民間団体以外の非営利団体への助成。	中四国地域連携軸推進連絡会議
23	日本海国土軸構想	平成5年度より3県において継続的に企画合同会議をもち共同事業の協議を実施。 主な活動は、シンポジウム等の開催、地域連携の機運を高める一方、国への要望で社会基盤の充実への運動等を展開。 平成15年3月31日をもって廃止。	
24	東九州軸構想	平成3年8月に東九州地域の関係機関、団体、企業等が一体となって、「東九州軸推進機構」を設立。 主な活動内容は、各種シンポジウム、講演会の開催、調査研究事業の実施。 また、東九州軸活性化推進懇話会等を通じて東九州自動車道整備促進をはじめ、地域活性化についての要望活動を展開。	東九州軸推進機構
25	九州中央軸構想		

	地域連携軸名	活動内容	推進組織
26	九州北部地域連携軸構想	平成7年8月に九州北部地域連携推進協議会を設置。(平成9年度に九州北部三県広域連携推進協議会に改称) 主な活動は他推進団体と共同しシンポジウムの開催、観光、社会インフラ整備、学術交流等の目的を持ち展開。特に日本国内のみならず日韓海峡沿岸県市道知事交流会などのようにアジアとの地域連携も模索。	九州北部三県広域連携協議会、長崎街道沿線自治体連絡会議、北部九州福岡、佐賀、長崎三県観光協議会
27	有明海・八代海沿岸地域開発構想	平成4年7月に「有明海、八代海沿岸地域開発及び交通体系に係る検討委員会」が発足、平成12年度に「有明海・八代海沿岸地域開発構想」を策定。 主な活動内容は、平成13年度にホームページを開設するとともに、地域における交通体系の整備だけでなく環境にも配慮した地域開発構想を実現を目指し、各種事業の展開を検討。	有明海・八代海沿岸地域開発及び交通体系に係る検討委員会
28	九州西岸軸構想	推進組織の一つとして昭和63年5月に「島原・天草・長島架橋建設促進協議会」を設立。 主な活動内容は、九州西岸軸構想の中心となる島原・天草・長島架橋の建設に向けて、自然調査や架橋建設による地域社会・経済に与える影響についての調査を実施するなどの社会資本整備にむけた環境整備。	島原・天草・長島架橋建設促進協議会、島原・天草・長島架橋建設促進期成会連絡協議会
29	中九州連携軸構想	平成5年4月に「中九州・地域高規格道路促進期成会」を設立。 主な活動内容は、中九州横断道路の建設を促進することで、九州各県の主要都市を150分で結ぶネットワークの形成を目指しての促進大会の開催や、関係諸機関への要望を実施。	中九州・地域高規格道路促進期成会
30	南九州広域交流圏構想	平成10年10月に「南九州広域交流圏会議」を設置、平成13年3月に「南九州広域交流圏構想」を策定、続いて平成14年3月の「南九州広域交流圏構想アクションプラン」を策定。 主な活動内容は、現在アクションプランに基づきホームページの開設、科学技術人材データベースの構築等広域共同連携事業を推進。	南九州広域交流圏会議
31	南の海洋連携軸構想	平成11年度より「随時 南の海洋連携推進交流会議」を開催。 主な活動内容は、鹿児島県と沖縄県との交流の拡大や地域連携の可能性を模索し、県レベルでの情報交換や、観光資源の調査に関する会合等。	南の海洋連携推進交流会議（鹿児島県、沖縄県）

(出典 平成14年度地域連携軸構想に関する実態把握調査に基づき作成)